

Z1/Z2リアマスターシリンダーキット取り扱い説明書

Parts No.75-501 対応車種 1972-1976 Z1/Z2, Z750/900

この度は、リアマスターシリンダーキットのお買い上げ、誠に有難うございます。

注意；本製品を取り付けし、ご使用になる前に本取り扱い説明書とコーションラベルを、必ずお読み下さい。

注意；各部品の締め付けトルクなどは、装着する車輛のメーカーが発行するサービスマニュアルをご参照下さい。

注意；ブレーキホース、バンジョーボルト（M10 PC1.25mm）は付属していません。別途ご用意下さい。

注意；マスターシリンダーのリザーブタンクステーは付属していません。別途ご用意下さい。

1: 付属品の確認 写真左上順

- ① マスターシリンダーマウントステー ×1枚
- ② ペダルアダプター ×1個
- ③ キャップボルト M8 L 50mm ×2本
- ④ 割りピン 2mm L 20mm ×1本
- ⑤ コネクティングピン ×1個
- ⑥ アダプターナット ×1個
- ⑦ アダプターブッシュ ×1個
- ⑧ フランジナット M8 ×2個
- ⑨ ナット M6 ×1個
- ⑩ ボタンヘッドボルト M8 L 15mm ×2本
- ⑪ ボタンヘッドボルト M6 L 20mm ×1本
- ⑫ 六角ボルト M6 L 35mm ×1本
- ⑬ ブッシュロッド ×1本
- ⑭ マスターシリンダーASSY ×1セット

2: 取り付ける前に

2 A…ブレーキペダルを取り外します。作業を円滑に行うためには、取り外しの支障となる部品を全て取り外して下さい。

3: フレームへの取り付け

3 A…車体右後側のエンジンマウント部分のフレーム側ボルト2本を取り外し、③ボルトを規定トルクで締め付けて下さい。

3 B…⑩ボルトを使用して①ステアーを⑭マスターに仮止めして下さい。

3 C…①ステアーを“3A”のフレーム内側へセットし、⑧ナットを使用して固定して下さい。締め付けトルク 2.5 N.m

3 D…⑬ロッドのピン固定部分の内面に耐候性グリスを塗布し、⑭マスターに取り付けて下さい。

4: ブレーキペダルアダプターの取り付け

4 A…ブレーキペダルにリターン Springs を組み込んだ状態で以降の作業を進めて下さい。

4 B…ブレーキペダルのプルロッドブッシュを取り付ける位置に②アダプターをセットし、車体装着状態の表側から⑩ボルト、⑦ブッシュの順にセットして下さい。

4 C…⑥ナットのネジ部分にネジロック剤を塗布し、ブレーキペダルの裏側にセットして仮止めして下さい。

4 D…⑫ボルトに⑨ナットを取り付けし、②アダプターにねじ込んで下さい。

4 E…②アダプターがブレーキペダルに行き当たり、振り子の様に動かなくなるまで⑫ボルトをねじ込み、⑨ナットを締め付けてロックして下さい。

4 F…⑩ボルトを締め付け、②アダプターをしっかりと固定して下さい。ブレーキペダルを車体に取り付けて下さい。

5: ブレーキペダルの角度調整方法

5 A…フレームのストッパーボルトを調整し、ブレーキペダルの角度を決定します。

⑬ロッドを直し、⑬ロッドの穴位置と②アダプターの穴位置を合わせ、⑤ピンに耐候性グリスを塗布してセットし、④ピンを使用して固定して下さい。⑬ロッドのロックナットを固定して下さい。

5 B…マスターシリンダーとブレーキペダルのコネクター部分を車体真後ろから覗き、ブレーキブッシュロッドが斜めになっている場合は、⑭マスターと①ステアーの間に適度な厚みのワッシャーを用意して組み込んで調整して下さい。

6: リザーブタンクの取り付け

6 A…リザーブタンクを適度な位置に取り付けて下さい。取り付けの際、リザーブタンク本体はリザーブタンクホースの取り出し位置より、高い位置に固定して下さい。

7: ブレーキエア抜きについて

7 A…ブレーキペダルをゆっくりと踏み込み、マスターシリンダーをフルストロークさせて下さい。この時、車体誤差により、ペダルアダプターの固定ボルトとフレームが干渉する場合がございますが、しっかりとエア抜きを行う事で、通常使用範囲では干渉しなくなります。

8: 定期点検箇所

以下の作業を必ず行って下さい。

①各部のボルト、ナットの緩みなど

②定期的なグリス塗布箇所…ブレーキペダルの支点部分、コネクターボルト部分。

③各ブレーキホース固定部分のオイル漏れなど

以上で取り付けは終了です。

ご不明な点は、購入店もしくは、(株)ピーエムシーまでお問合せ下さい。

